

企画・調査専門委員会 平成19年度活動報告

平成20年5月16日

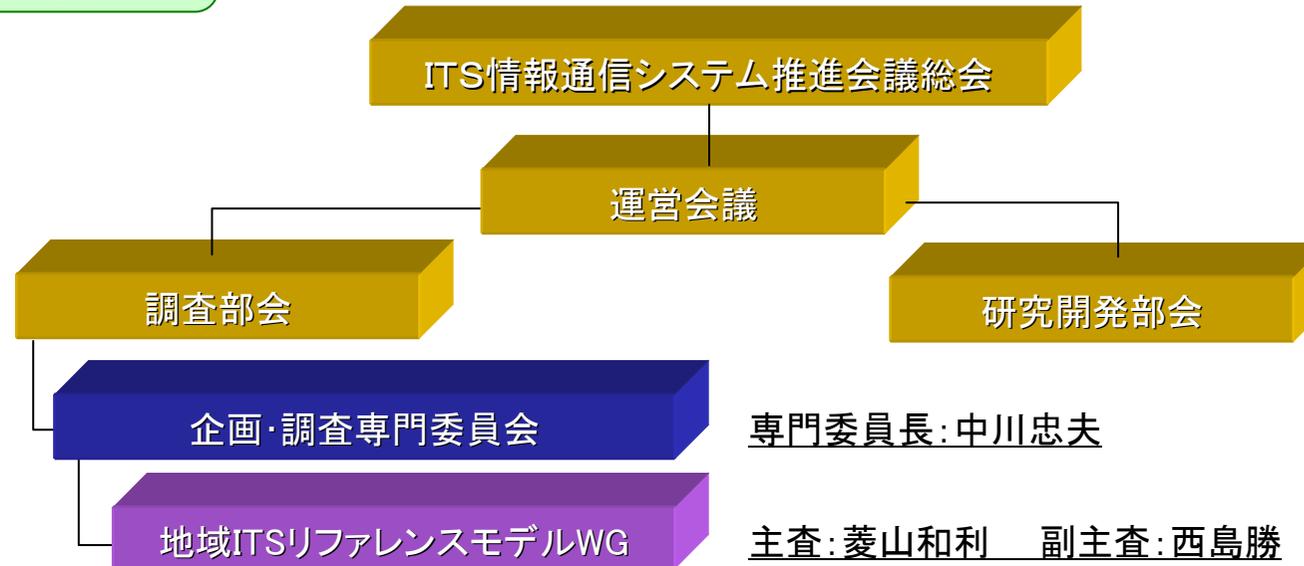
I T S情報通信システム推進会議

企画・調査専門委員会

専門委員長 中川忠夫

1. 企画・調査専門委員会について

体制



目的と活動方針

企画・調査専門委員会では、「安全・安心ITS」の実現に向けて、平成18年度までの地域普及・啓発活動で得た知見をもとに、地域に定着させるためにはどのような課題があるかを整理し、地域ITS推進者の安全・安心に対するニーズを調査・検討することで、普及展開を図ることを活動目的とした。また、防災ITS等、地域に求められる防災・災害対策系のIT&ITSシステムについて、調査し取り纏めた。

併せて、広義の安全・安心分野における有識者による講演会およびヒアリングを開催し、ITS情報通信システム推進会議の会員へ、「安全・安心ITS」推進の一助となる情報を提供するため、講演会を実施した。

2. 企画・調査専門委員会活動概要

平成19年度活動概要

- ① 改定版「地域ITS導入検討ガイドブック」の作成および普及展開
- ② 安全・安心に関する有識者による講演会
- ③ 安全・安心ITSに関するニーズ調査

H18年度までの地域
WG活動の成果

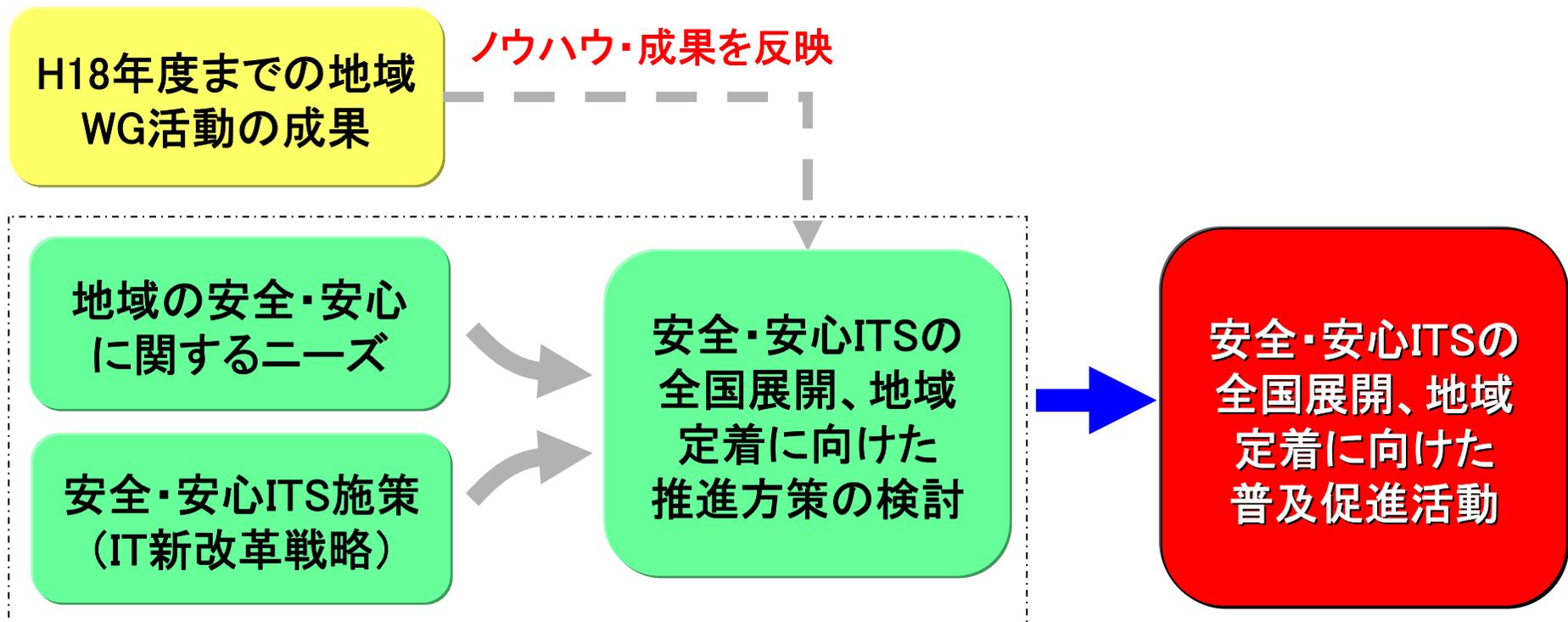
ノウハウ・成果を反映

地域の安全・安心
に関するニーズ

安全・安心ITS施策
(IT新改革戦略)

安全・安心ITSの
全国展開、地域
定着に向けた
推進方策の検討

安全・安心ITSの
全国展開、地域
定着に向けた
普及促進活動



3. 活動内容報告①

活動成果

●改定版「地域ITS導入検討ガイドブック」の作成および普及展開

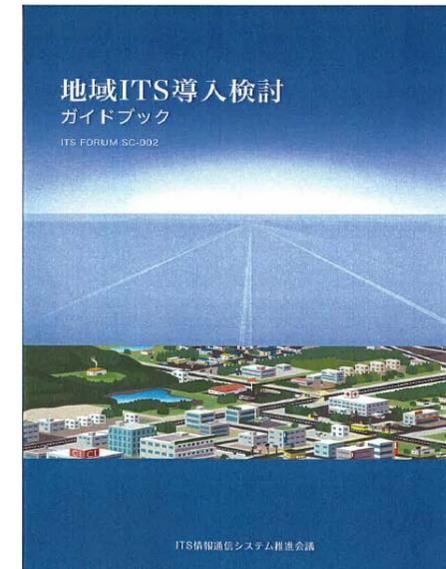
平成15年に発行した「地域ITS導入検討ガイドブック」(ITS FORUM SC-002)について、地域における最新の取り組みと知見を反映させた改定版を作成し、地域における最新のITS事例、取り組み等を、地域ITS推進者(地方公共団体等)に紹介することを目指した。

【改定内容】

- ①平成18年度までにヒアリングを実施した地方公共団体の中から、積極的にITS導入に取り組んでいる、高知県および青森県等の事例を新たに追加した。
- ②地域におけるITSの取り組みや課題抽出等について、「道路交通の安全性向上」、「交通流の円滑化、環境負荷の軽減」等のカテゴリーを明確化するとともに、地域ITS施策事例の傾向分析を行った。
- ③地域ITSに活用可能な予算制度について、調査して掲載した。

【普及展開活動】

2007年12月7日に福岡にて開催されたITS Japan主催の「第4回地域ITS推進団体連絡会」に参加し、改定版「地域ITS導入検討ガイドブック」の配布するとともに、福岡県庁および国土交通省九州地方整備局のITS推進者の方々とITSの取り組みについて意見交換を実施した。



4. 活動内容報告②

活動成果

●安全・安心ITS講演会の開催

ITS情報通信システム推進会議の会員に向けて、安心・安全ITSの情報提供を実施することを目的として、災害時交通流監視システム研究会代表八木浩一様による講演会を実施、約40名の推進会議会員の方々に参加いただき活発な議論を実施した。

【開催日】2008年1月28日 16時00分～17時30分

【会場】(社)電波産業会 第5,6会議室

【テーマ】「防災・減災ITS ～災いを減らすためにITS技術者ができること～」

【概要】災害時に必要とされるITSシステムの構成要素を、被災内容ごとに整理し構造化を試みる。そこから課題を導き出し、具体的な解決方法の一つとして、携帯電話の基地局情報の活用に加え、中越地震、中越沖地震の際の交通状況の紹介や、その他の観測情報の活用を提案する。

【参考】講演会について

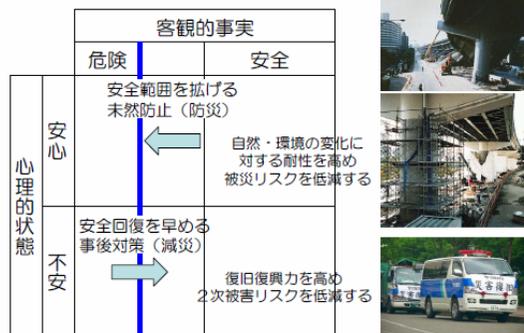


※講演会模様

※発表資料より

ITS情報通信システム推進会議(<http://www.itsforum.gr.jp/>)
企画・調査専門委員会 資料一覧に掲載

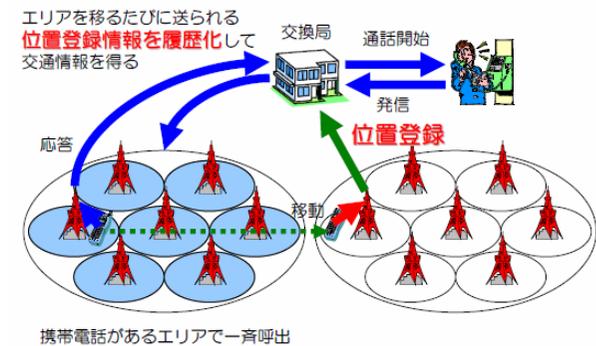
3. 安心安全モデル ～防災・減災 物理アプローチ～¹³



7. 減災効果向上への方策⁵¹

- 方策1：新規データの観測**
センサー技術
VICIS（路上に設置のセンサ）
プローブカー（車内に設置のセンサ）の普及拡大含む
- 方策2：既存データの共有**
ネットワーク技術
システム連携、人と人のネットワーク含む
- 方策3：既存データの新たな活用**
データマイニング技術
一見、無関係なデータからの有用情報の抽出

7. 減災効果向上への方策 ～基地局情報活用～⁵²



5. 活動内容報告③

活動成果

●安全・安心ITSに関するニーズ・事例調査

国内の「安全・安心」に関する地域ITS施策事例について、特に地方自治体・地域ITS推進者が施策の参考となる内容について調査し、取り纏めた。また、2007年度に実施されたITSに関連する社会実験・実証実験について、特に安全・安心分野における実験について重点的に調査した。

【安全・安心に関する主な地域ITS施策・導入例】

- ・超音波センサを活用したトンネル内状態監視システム(国土交通省鹿児島国道事務所)
- ・高知県「中山間道路走行支援システム」導入(高知県・総務省他)
- ・「道路情報板ガイダンスシステム」導入による津波情報提供(国土交通省東北地方整備局)
- ・自動融雪融氷システム(国土交通省松江国道事務所)
- ・秋田つるつる路面ナビゲータ(つるナビ)プロジェクト(秋田県・秋田市他)
- ・冬期道路情報提供(積雪の多い各地域)
- ・除排雪車運行管理システム(青森市他)
- ・高知県「中山間歩行者注意喚起システム」導入(高知県他)
- ・千葉県鎌ヶ谷市「交通事故半減プロジェクト」(鎌ヶ谷市他)
- ・災害時におけるアドホック無線システム構築実験(総務省関東総合通信局)
- ・自律的移動支援プロジェクト(青森県・東京都・静岡市・熊本県他)

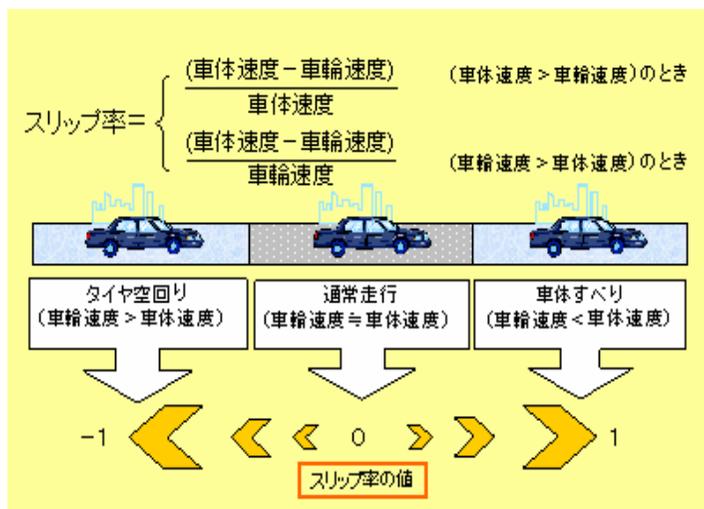
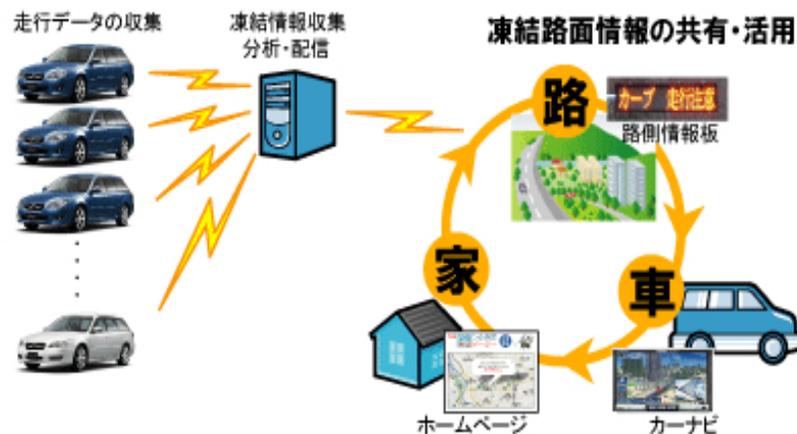
他、社会実験・実証実験について調査し、一覧として取り纏めた。

6.安全・安心ITS事例報告②

●秋田つるつる路面ナビゲータ（つるナビ）プロジェクト

（秋田県・秋田市・国土交通省秋田河川国道事務所 他）

道路を実際に走行する車両から路面凍結データを収集・解析することにより、凍結路面を検知し、秋田市内の「すべりやすい凍結路面」として表示するプローブ型システムの検討・実証プロジェクト。



※出典: つるナビプロジェクト